

柏葉脳神経外科病院広報誌

特定医療法人  
柏葉脳神経外科病院

札幌市豊平区月寒東1条15丁目7-20  
TEL.011-851-2333

# かしわば

vol.40  
2014.7



家族が急に  
意識を失って倒れたら…

柏葉脳神経外科病院 顧問  
精神科 掛川 紀夫

# 家族が急に意識を失って倒れたら…



もし家族が目の前で意識を失って倒れたら、適切に対処することができますか。いったい何の病気なのか。重症なのか軽症なのか、救急車を呼ぶべきなのか。回復して目を覚まし「もう大丈夫」と言っている場合はどうすべきでしょうか。

## 考えられる主な病気

突然、意識を失って倒れた場合、原因としては脳内の何らかの病変、失神、発作性転倒、てんかん病などが考えられます。呼びかけても反応がなかったり、呼吸困難を伴うなど、いつもと様子が違うときには速やかに救急車を呼びましょう。すぐに意識が戻った場合でも必ず専門医を受診しましょう。

## 倒れた場合の診断の進め方

※診断状況によって診断項目は異なります

1 問診

2 画像検査  
MRIやCT検査など

3 脳波検査

4 病理検査

5 総合診断



## てんかん病・精神科 診療のご案内

### 【受付時間】

火～金 08:40～12:00  
13:30～16:30

※予約の必要はありません

## 脳内の何らかの病変

脳卒中(脳出血・脳血栓・脳塞栓)は脳の血管が切れたり詰まったりする病気です。半身マヒが起きたり、ろれつが回らなくなったり、意識を失ってけいれんを起こしたりします。

## 失神(脳貧血)

急激な血圧低下が原因で脳内の血液の量が減り、一時的に気を失う状態です。けいれんを伴うことは稀です。

## 発作性転倒(ころぶこと)

意識がはっきりし、倒れてから起き上がるまでの記憶が途切れずにあるなら問題はありません。ただの転倒と思われたものが「一瞬だけ意識を失う種類のてんかん発作」のこともあります。何度も転倒を繰り返す場合は専門医を受診すべきでしょう。

## てんかん病

大脳の神経細胞が過剰に興奮(放電)することで、意識を失ったり、けいれんを起こす慢性の脳疾患です。我が国でも毎年5万人が発症し、約100万人の患者さんがいると推定されています。7割の患者さんが、15歳以下で最初の発作を起こしていることから、子供の病気と思われがちですが、高齢でも発症する人がいます。



柏葉脳神経外科病院 顧問

精神科 掛川 紀夫

得意分野: てんかん病、気分障害、神経症性障害

### 【略歴】

昭和39年 北海道大学医学部卒業  
昭和50年 国立静岡てんかんセンター  
神経科医長  
昭和61年 岩見沢市立総合病院精神科 医長  
平成2年 掛川神経科クリニック 院長  
平成26年4月 柏葉脳神経外科病院 入職

### 【認定医・専門医】

精神保健指定医 精神科専門医  
日本てんかん学会認定医 医学博士

### 【著書】

「てんかん病 専門医からのアドバイス」  
(真興交易・医書出版部 1981.3)

## てんかん病の発作にはいくつかの種類があります

代表的なてんかん病の発作は「突然倒れ、けいれんする」のですが、神経細胞の興奮がどこから始まり、どのルートを伝わって広がるかによって発作型は異なります。立ったままで十数秒意識を失ったり、意識が混濁して無意味な動作をしたり、片方の腕や身体半分のけいれんもあります。てんかん病に起因する夜間の異常行動が、寝ぼけや夢遊病と間違われることもあるので、専門医の診断を受けるべきです。



てんかん病は「脳の地震」のようなもので、てんかん発作は突然に起きて短い時間に喪失します。発作がない普段は何の症状もありません。

### 医師が知りたい発作時の情報

- 発作が起きた状況、時間帯
- 発作の持続時間
- 発作の始まり時の意識はなかったのか、途中から意識が濁ったのか
- 本人が思い出せないような異常な言動があったか
- 筋肉の突っ張り（強直）とか震え（間代）と表現されるけいれんが、四肢の両側でほぼ同時に始まったのか、発作の始まりは両眼や顔が不随意に左に向いてからだったのか、左右半身のどちらが優勢だったのか

## てんかん病は治る病気です

診断機器の進歩により、てんかん病の原因が判明するケースも増えてきましたが、未だ原因不明のことが多いのです。治療は一般的には抗てんかん薬の内服で、薬の

### 薬物療法のポイント

てんかん発作にあった薬の選択

定期的な検査  
脳波や  
抗てんかん薬  
血中濃度測定

毎日規則  
正しい服用

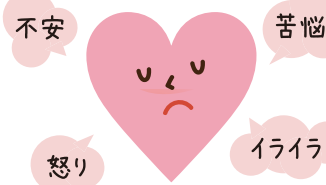


種類や量を調整することで7、8割の人は発作が抑制されるといわれています。発作が完全抑制された場合には、何年か後に慎重に薬を減らせる場合もあります。薬物治療だけではなく、てんかん病の外科治療もさらに発展することでしょう。

## 不安や気分の落ち込みがある場合は

てんかん病の患者さんは、いつ発作が襲来するかとの不安やストレスと常に闘っています。オープンにすることで時には就職が困難になるといった社会的偏見もあり、友人に話せないケースもあるのです。当院ではてんかん病の治療を継続しながら、必要に応じて精神面での症状や悩み、問題解決のサポートをしています。

カウンセリングの  
カタルシスは  
こころの煙突掃除



カウンセリングで、心の中にあるさまざまな不安やイライラ、苦悩や怒り等の感情を言葉にして表現し、抗不安薬や抗うつ薬を併用することで精神面の症状が消失することがあります。心理学の用語ではカタルシス効果と呼びます。

## てんかん病の大発作時の介助

大発作は続いてもせいぜい1、2分で終わり、必ず元の状態に戻ります。すぐに救急車を呼ぶ必要はありません。激しく突っ張り、あるいはガクガクとけいれんがきますが、口の中にハンカチや箸を入れないことです。口の中を傷つける恐れがありますし、けいれんで舌を咬むことはないからです。代わりに下顎の下に手を添え、上顎に向かって軽く押さえます。けいれんで顎が外れないようにするためと理解してください。

頭と地面や床との間に、衣類や毛布といった柔らかいものを挟みます。けいれんが終わり呼吸が戻ったら、顔を片側に向けて意識が回復するまでそのまま静かに寝かせましょう。頭の下に枕を置くと气道が狭くなるので、枕は使わずに頭を後ろに反らせるようにします。多くの場合、十数分で意識が戻り、いつものように動けるようになります。



## 運転免許について



てんかん病の患者さんでも、ある条件を満たせば運転免許が交付されます。日本てんかん学会認定医（臨床専門医）の診断書が必要になる場合がありますが、当院でも対応しています。



**病院の理念** 私たちは、安全で安心いただける医療のサービスに徹し、患者さんの幸せを守ります

**病院の基本方針**

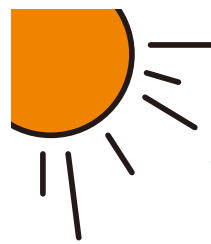
- 患者さんにとって、思いやりのある最善の医療に全力をつくします
- 医師とスタッフによる説明と、患者さんの理解と選択に基づく医療を実践します
- 患者さんの意志とプライバシーを尊重します
- 医療従事者として、常に、豊かな人間性と技術の向上をめざします
- 救命・救急医療から心と体のリハビリテーションまで、高度な脳の専門病院をめざします
- 地域医療機関との強力な連携をはかり、よりダイナミックな医療のサービスを提供します

**患者さんの権利**

- 患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権利があります
- 自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知る権利があります
- 自分の病気・治療・予後について知る権利があります
- 治療について承諾・拒否する権利があります
- 自分の診療について、他医師の意見（セカンドオピニオン）を得る権利があります
- 自分のプライバシーを守る権利があります
- 公的援助、地域サービスに関する情報を知る権利があります
- 病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利があります

からだ★ミニコラム  
暑い夏を乗り切る知恵  
肌着選びで  
快適に！

肌着の素材によって、汗をかいたときの着心地が変わることをご存知ですか。夏におすすめなのが「吸汗・速乾」の機能性肌着。汗をかいた後も快適に過ごせる効果が期待できます。



吸汗・速乾の  
機能がある素材を

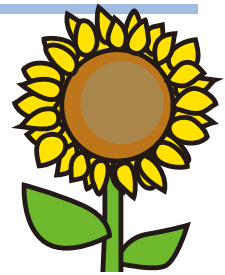
「夏を涼しく過ごせる」と各メーカーが販売している機能性肌着の素材はポリエステルやキュプラなどの合成繊維。構造や織り方を工夫し、水分を吸い取りやすく乾きやすくしていることから、汗をかいた後も不快感なく過ごせます。

夏に不向きな  
綿100%の肌着



綿の肌着は吸った汗を繊維に溜め込むので、乾くまで時間がかかり、湿気っぽく蒸れたような感じになります。汗をかいた後は綿の繊維が肌に張りついて不快だけでなく、冷房が効いた室内に入ると体が冷え過ぎてしまう原因にもなります。

体にフィットする  
サイズを



肌着が汗をまんべんなく吸収できるように体にフィットするサイズを。その上に着るシャツはゆったりめで、襟ぐりや袖口が大きめのものを選びましょう。肌着との間に風が通るくらいのもので、暑さ対策に効果的な着こなしです。



5月に「47年ぶりの真夏日」があったかと思えば、6月には「58年ぶりに連続降雨日数が更新」されました。不安定な天候が続いていましたが、エルニーニョ現象による5年ぶりの冷夏予想は回避され、なんとか平年通りの夏をむかえられそうです。北海道の短い夏、イベント事も多く何かと外出が多くなるこの時期、体調管理には十分ご注意ください。(小川)